

**クライマテリア メタリアート  
ウェザード**

(不燃認定取得商品名：メタリアートセット B)

**施工の手引き  
(JP 施工店会 限定仕様)**

**【初版】令和2年 5月**

**アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー**

<使用材料> 不燃認定取得商品名「メタリアート セットB」

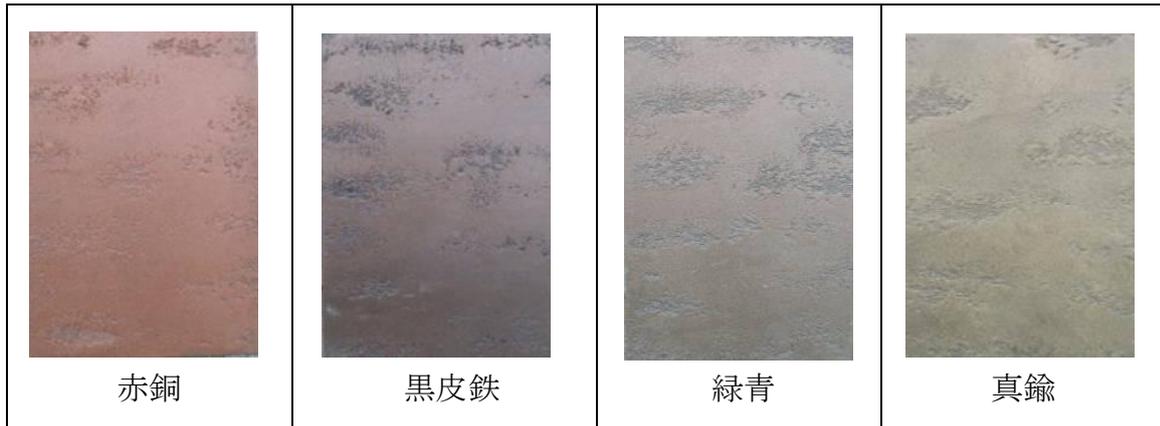
材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1 液水系アクリルシラ -	18kg/缶	約514㎡/缶
	ジョリパットシーラー JS-90	1 液水系アクリルシラ -	10kg/缶	約142㎡/缶
	セーフシーラー JS-800	1 液水系珪酸シラ -	16kg/缶	約228㎡/缶
主材	主材1(ベース:B) クライマリア メタリアート JM-95 MT-1~4 (MT-1~4は色番号)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約33.3㎡/缶
	主材2(トップ:T) クライマリア メタリアート JM-95 MT-1~4 (MT-1~4は色番号)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約26.7㎡/缶
骨 材	JF-1	寒水石1厘	20kg 袋入	約26.7㎡/袋
主材	主材3(フィニッシュ:F) クライマリア メタリアート JC-95 MTB, MTC, MTG (MTB, MTC, MTGは色番号)	水系アクリル	各色5kg/缶	1色目:約27.7㎡/缶 2色目:約250㎡/缶

<色品番について>

各塗材の色品番は下記使用塗材一覧及び塗板写真をご確認ください。

<使用塗材一覧>

	主材1	主材2	主材3 1回目	主材3 2回目
赤銅	JM-95MT1		JC-95MTB	JC-95MTC
黒皮鉄	JM-95MT2			
緑青	JM-95MT3			JC-95MTG
真鍮	JM-95MT4			



クライマテリア メタリアートは標準塗布量・施工方法に準拠して施工した場合でも、**施工者によって仕上がりに差が生じる可能性のある仕上げになります。施工前には、必ず実際の施工者がコンパネ等で見本を作製し、施主等の承認の上で施工を進めて下さい。**

#### <不燃認定について>

クライマテリア メタリアート ウェザードは下記の商品名で不燃認定を取得しています。必ず弊社仕様に準拠し、施工して下さい。

商品名：メタリアート セットB

#### <主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・左官刷毛（JR-76）
- ・ヘッドカットローラー（平面用：ジョリパットローラー JR-26）  
（隅 用：ジョリパットローラー JR-27）
- ・コテ刷毛（JR-260）

#### <下地調整>

石膏ボード、モルタル金ゴテ押さえ（平滑）など

## ＜クライマテリア メタリアート ウェザード施工方法＞

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-90の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材1 (ベース : B)

配 合	JM-95	20kg
塗 布 量	0.6kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレス製コテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材2 (トップ : T)

配 合	JM-95	20kg
	JF-1	20kg
	清 水	3ℓ
塗 布 量	1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	ステンレス製コテ	
施工方法	ステンレスゴテで平滑に塗布する。 (最後は横方向に押さえる)	

追いかけ 5分以内

## 4. パターン付け

施工道具	左官刷毛 (JR-76)
施工方法	左官刷毛 (JR-76) をよく水に浸して、塗膜の表面を叩いて塗膜を隆起させ、パターン付けを行う。(図1)

追いかけ 5分以内

## 5. 押さえ(模様)

施工道具	ヘッドカットローラー (JR-26, JR-27)
施工方法	ヘッドカットローラー JR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジョリパットの模様の表面をヘッドカットローラーが転がるように押さえる。横方向(パターンの方向)に押さえるようにする。

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。  
(目安: 12h以上)

6. 主材3 (フィニッシュ:F)  
1回目

配 合	JC-95 MTB	5 kg
塗 布 量	0.18 kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	中毛ローラー	
施工方法	全体的にまんべんなく横方向(パターンの方向)に塗布する。(図2) (凹んだ部分にも塗材を塗り込むようにする)	

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。  
(目安: 4h以上)

7. 主材3 (フィニッシュ：F)  
2回目

配合	JC-95 MTCまたはMTG 5kg
塗布量	0.02kg/m <sup>2</sup>
施工道具	コテ刷毛(JR-260)
施工方法	全体的にまんべんなく横方向(パターンの方向)に塗布する。(図3)

## <施工のポイント>

### ○主材2塗装

- ・ステンレスゴテを用いて、コテ波が横方向になるように平滑に塗布する。

### ○パターン付け

- ・主材2を塗装後、すぐに左官刷毛(JR-76)を用いて、パターン付けしたい部分の塗膜表面を軽く叩いて塗膜を立たせる。(図1)

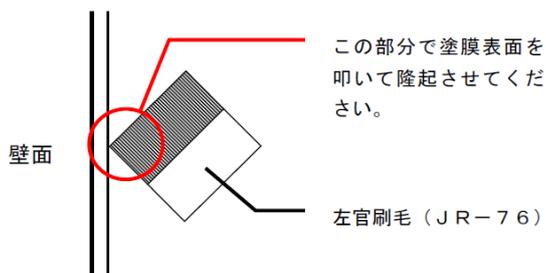
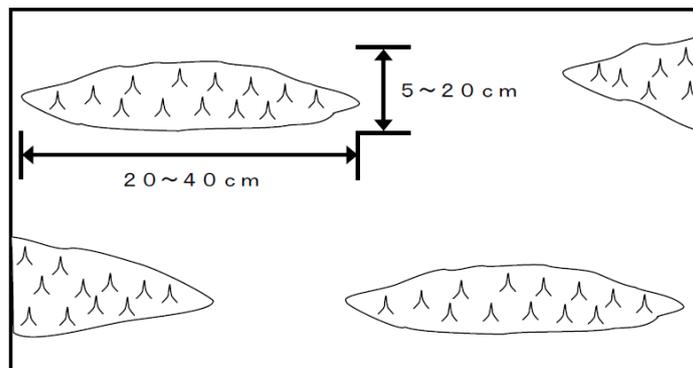


図1

### ○主材3 1回目塗装

- ・中毛ローラーを用い、塗膜の凹んだ部分にも着色されるよう材料を塗り込むように塗装する。
- ・ローラーはパターンの方向(横方向)にのみ動かす。  
(縦方向には動かさない方が自然な仕上がりになる)
- ・1回の塗装間隔は15~25cm程度とし、塗り残しが無いように小刻みに塗り継ぐ。
- ・縦方向には5~10cm程度ラップさせ、塗り残しが無いように塗装する。

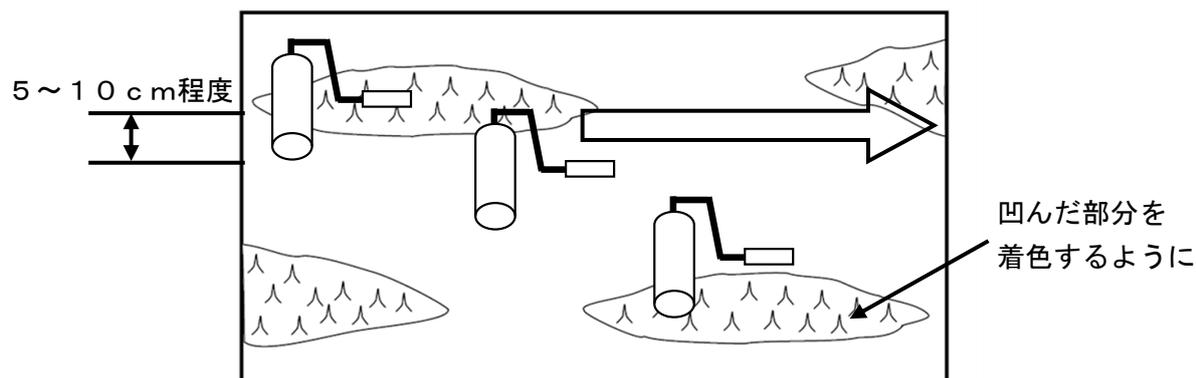


図2

### ○主材3 2回目塗装

- ・ コテ刷毛（JR-260）を用い、塗膜の平らな部分のみが着色されるように塗装する。
- ・ コテ刷毛（JR-260）はパターンの方（横方向）にのみ動かす。  
（縦方向には動かさない方が自然な仕上がりになる）
- ・ 1回の塗装間隔は15～25cm程度とし、塗り残しが無いように小刻みに塗り継ぐ。
- ・ 縦方向には5～10cm程度ラップさせ、塗り残しが無いように塗装する。

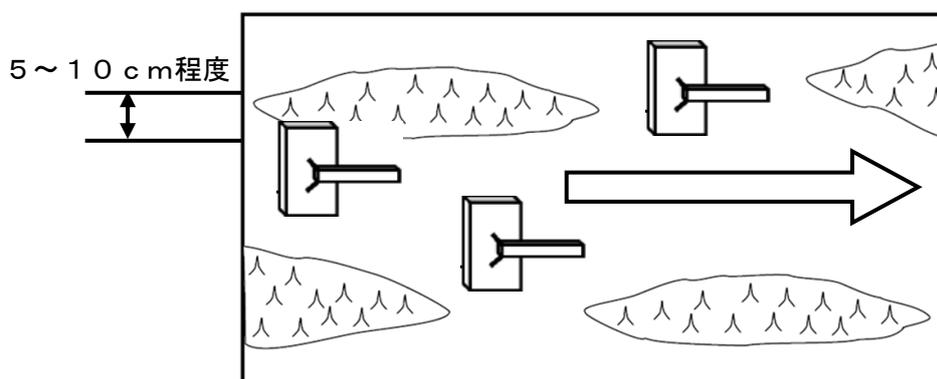


図3

### <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃未満、湿度85%以上の場合、施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行い、気温5℃以上、湿度85%未満として下さい。
- ・ **施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。**
- ・ 配り塗りは、均一に塗布して下さい。塗布量が少ないとパターンができません。
- ・ **塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等では有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。  
また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への放流は避けて下さい。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。
- ・ 施工する際は下地表面に結露(濡れ)が無い事を確認した上で施工して下さい。
- ・ **施工する色によって、使用する材料の色品番が異なりますので、ご注意下さい。**
- ・ **J C—9 5は必ず使用前に攪拌機等でよく攪拌して下さい。未攪拌で使用すると仕上がり不良の原因になります。**  
**また、J C—9 5は冬場に凍結するおそれがあります。必ず5℃以上の環境で保管して下さい。**
- ・ **クライマテリア メタリアートはパターンによって、各塗材の塗布量が異なります。**  
**不燃認定に関わりますので、塗布量をよくご確認の上、施工して下さい。**  
**特に、主材3（J C—9 5）の塗布量にご注意下さい。**

以上